

小泉班長（栄消防団一分団一班長）

（小泉班長）

栄消防団一分団一班長の小泉です。

（インタビュアー）

小泉さん今日はどうぞよろしくお願いいたします。

（小泉班長）

よろしく願います。

（インタビュアー）

今日は、消防団の皆様はどのようなことをしていただけますか。

（小泉班長）

はい。我々ですね、AED と心肺蘇生についての説明をさせていただきます。

（インタビュアー）

AED・心肺蘇生はどの方向に向けてお伝えしますか？

（小泉班長）

一般に小学生の 6 年生ですね。6 年生を対象としております。

（インタビュアー）

実際に子供たちは今回機器を触るのですか？

（小泉班長）

はい。全体的な流れは消防団の方で 1 回行いまして、各班にわかれて実際 AED を使って頂こうと思います。

（インタビュアー）

子供たちにはどのような事を今日学んで帰ってもらいたいと思われるか？

（小泉班長）

そうですね、なかなかね AED を使うことって難しいと思いますので、倒れている方が居たら 119 番通報と AED がどこにあるかということと、身近にあるその AED の使い方、今すぐ使うことはできないかもしれませ

んけども、大きくなって小学校でこういうことを学んだということ覚えて頂ければと思っていますので、そのような事を今日1日やっていきたいと思っています。

(インタビュー)

まず本当にAEDについて知っていただけることがすごく大きいですね

(小泉班長) そうですね。

(インタビュー)

そして栄消防団第1分団第1班の皆さんは、普段地域ではどのようなことをしてくださっているのか？ちょっと消防団の紹介をここでしていただいてもいいですか？たくさんあると思うのですが。

(小泉班長)

はい、そうですね、まず第1分団第1班の地域は、ここ中村地域になるのですが、その地域の中での防災の広報活動、それから地域の中での防災の指導とかを中心にこの様な小学校拠点の合同の訓練とかにも参加させていただくようにしております。

(インタビュー)

とても頼もしい存在です。ありがとうございます。この時間は、栄消防団一分団一班長の小泉班長にお話を伺いましたありがとうございました。

(小泉班長)

はい、ありがとうございました。

救助訓練の様子

(隊員)

先ほどの手を置いて、そう！胸の真ん中、それで肘は真直ぐ伸ばしてもう少し真上の方へ来て、それで力強く、「イチ、ニツ、サン！イチ、ニツ！・・・」。これを、1分間に100回以上行うので、1秒でよりも早くね、行ってください。それでは試してみてください。

先ほど言った5センチぐらいを押してみてください。

「イチ、ニツ、サン、シ、ゴツ、ロク、ヒチ、ハチ、クツ、ジュウ！」

もっと押せたら押していいよ。早くてじゃなくて一回一回をキチンと！

「イチ、ニツ、サン、シ、ゴツ、ロク、ヒチ、ハチ、クツ、ジュウ！」

「イチ、ニツ、サン、シ、ゴツ、ロク、ヒチ、ハチ、クツ、ジュウ！」

もう一回できますか？

もう疲れた？

一番新しいやつは蓋を開けただけでもう動き出すやつがある。

これは、こうやって押します。

ピー-----

パットを胸に装着してください（機械音声）

ランプが点滅しているソケットにパットのコネクタを接続して下さい（機械音声）

(隊員)

コネクタを接続します。パットを装着します。

コネクタを接続してください。パットを装着してください。心電図を解析中です。身体に触れないでください（機械音声）

(隊員)

この時に心電図を解析しているので、身体に触るとビリビリと来ちゃいますから離れます。

ショックが必要です。充電中です。身体から離れてください。ショックを実行します。ショックボタンを押してください。（機械音声）

ピー-----！

ショックが完了しました。（機械音声）

6年生（AEDの取扱訓練を受けて）

（生徒）

呼吸してない人の心臓とかを触るのも何か心配（不安）っていう点もあるし、自分でもちょっと怖いなと思ったので、真剣にやりました。

（インタビュアー）

ありがとう！はい、一言もらえますか？

（生徒）

これに、今日学習したことを生かしたいなと思いました。

（生徒）

AEDとか初めて使ったけど、まずは周りとか大人とかを呼んだりして今まで習ったこととかを生かせたらなって思いました。

（生徒）

人を助けるのに周りを見るとか、人に頼ったりすることが大切かなって思いました。